

「3年後のすがた」として出た意見

コーディネイト	機関・場所	相談や人や団体をつなげる機能があり気軽に対応してもらえる場所ができています
	人材	複数のコーディネイトできる人がいる
		NPOと行政にコーディネイターが育っている
	組織	アメーバのように一つのコンセプトに関係機関や人が集合、離散している
ネットワーク	関係機関で緩やかなネットワークができつつある(連絡会議等)	
プログラム	カルテ	参加する子どもの成長カルテができています
	学習会	前向きな人による県民向け学習会が実施されている
	問題解決型	問題解決型環境学習がありそのおもしろさが広がっている
	能力向上	参画する人の問題解決力・企画力・実行力を高める
	体系化	樹形図、体系図がある
	新しいプログラム	現在はない組み合わせで連携したプログラムがいくつか継続して始まっている
		NPO・行政・企業の学習メニューがいくつかできており修了者は登録して現場で活躍している
指標	環境プログラム指標・評価軸の統一	
人材	リーダー	哲学を持った地域リーダーが養成されている
		プログラムを見直し質の高いモノにできる人や団体がいる
	シンボリックな人がいる	環境価値の目利きがいる
意識の変化	関心・認識	子どもが環境学習に興味を持つ
		環境価値が個人の能力として認識されている
		親が子どもが生きていくためには環境学習は必要であると認識する
ライフスタイル・価値観	口ハスがおしゃれで県内で50%になっている	
NPOの変化		行政や企業に対して環境で提案できるマーケティング能力が向上している
行政の変化	仕組み	現場に権限が下りている
		県職員全体が参画する仕組みがある
	意識	県民の意識を高める広報啓発で県職員が営業マンとして活躍している
	環境学習支援センター	環境学習支援センターが繁盛している
	部活の認知	具体的な連携事業が2つできている
県の部長が部活は使えると思うようになっている		
県民の変化	環境レポート	県民の1/3が環境報告書を作成している
資金		お金を出すシステムがある
その他		情報整理
		プログラムの選定
		個人が生きる上で学習機会がある
		地元学
		コリドー(回廊)